

「ドゥシャンベ市感染症病院医療機材整備計画」引渡し式



9月27日、宮下大使は、ドゥシャンベ市感染症病院を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で実施された医療機材整備プロジェクトの引渡し式に出席したところ、概要は以下のとおりです。

- 1 このプロジェクトは、国内最大規模の感染症専門医療機関であるドゥシャンベ市感染症病院の救急科、理学療法科、細菌検査科及び生化学検査科に新しい医療機材を整備し、同院の医療サービス向上を目的としたものであり、我が国政府が総額89,820米ドルを供与し、同院によって実施されました。
- 2 ドゥシャンベ市感染症病院は、市内のみならず全国から毎年約1万人の患者を受け入れているが、これまで有していた医療機材の多くは1960年代、70年代のソ連製であり、スペアパーツの製造中止により修理も不可能なため、医師・看護師らは手動式の機材を代用するなどで対応してきたものの、適切かつ十分な検査、治療を提供できない状況が続いていました。
- 3 引渡し式で宮下大使は、昨年以降、新型コロナウイルス感染症が世界で猛威を振るう中、タジキスタンではドゥシャンベ市感染症病院の医療関係者の献身的な活動がパンデミックの克服に寄与したことへの敬意を表した上で、今回供与された高品質な医療機材が同院での検査及び検査体制の改善につながることへの期待を述べたのに対し、フルシェド・ハビブゾダ院長からは、我が国の支援に対する謝意が表明されました。



医療用蒸留器



紫外線照射装置



顕微鏡



電流刺激装置



電気磁気治療器



血算測定器



マイクロプレートリーダー